

▶ 第6回年次大会を開催して



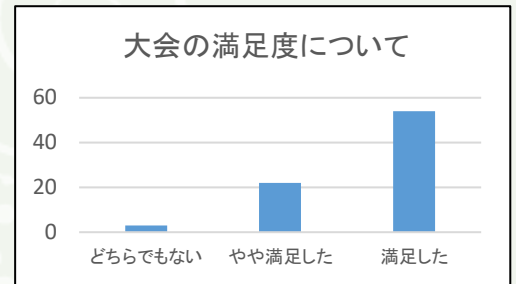
今回、コロナ禍の状況のため、日本アドバンス・ケア・プランニング（ACP）研究会第6回年次大会をweb大会の形で開催させていただき、100名を超える方にご参加いただきました。今回の大会テーマは「Withコロナ時代のACP」とさせていただきます。大会では、基調講演1として厚生労働省の有賀玲子室長より、国が推進している「人生会議」の進捗について、また、基調講演2として東京大学の会田薫子先生により、コロナ禍でACPを進める上での倫理的

課題についてお話しいただきました。このお話しの中では特にACPとその意思決定支援方法であるシェアド・ディシジョン・メイキング（SDM）の関係等わかりやすくお話しいただきました。午後のシンポジウムでは、「Withコロナ時代のACP—課題と対策」をテーマに、研究会メンバーにより、病院や診療所、施設におけるACP実践例につきご報告いただきました。この課題や対応法についての議論を通じ、コロナ禍においてこそ、ACPを進めることが重要であることを共通認識することができました。一般演題のセッションでは、9人の多職種の演者から、それぞれの職域におけるACP実践の現状についてお話しいただきました。コロナ禍の状況においても、各地域でACPが実践され、ACPファシリテーターの活躍の場も着実に広がっていることがご発表から知ることができました。各演者のご発表により、勇気づけられた参加者の方も多かったのではと推測します。研究会終了後のアンケートでは、回答された方の90%以上の方に「満足した」あるいは「やや満足した」という回答をいただき、アンケートのコメント欄でも多くの方に、ポジティブな評価を頂きました。今回、ネット環境により、ご発表が途中で中断となるなど、多々、運営上のご迷惑をおかけしましたことお詫びいたします。最後に今回、皆様のご協力により、年次大会自体が開催できましたことに感謝いたしますと共に、ご参加いただいた方々に心より厚くお礼を申し上げます。



▶ 第6回年次大会アンケート結果

年次大会のアンケートでは皆様からのたくさんの貴重なご意見・ご感想を頂きました。ご協力頂き誠にありがとうございました。皆様にご満足頂けて大変嬉しく思います。一部自由記述欄を抜粋致します。



- 「多職種」連携の中に存在していながら、実はこぼれおちてしまい、うまくつながることが出来ない職種に「終活カウンセラー」がいます。どのように医療や福祉の方と関わればいいのか悩む点が多く、そのような観点からも取り上げていただける日がきますと幸いです。
- 西川先生のコロナによるACP体験談は、この場においても当事者目線という貴重なお話で、当事者の意見を直接伺えることの価値を非常に強く感じました。
- コロナ禍におけるACPの取り組み方、介入の方法やコミュニケーション技法など様々な視点より聞くことができACPの取り組みの現状・情報を得ることができました。患者・家族への情報を発信するにはスタッフ、医療者へ普及啓発にどう発信するのかが課題となっています。その視点で一般演題の中でもいろいろと情報を得ることができました。
- COVID-19患者さんに関わっています。病状が急激に進む中、ACPの重要性を感じていますが、呼吸苦がある患者さんに話してもらうことはとても難しいことがジレンマです。本日の大会に参加させていただき、小さなことでも患者さんの思いを聞くことができたなら、記録に残し多職種でカンファレンスし、患者さんにとっての最善を皆で考えていけるよう、また頑張っていこうと思いました。

募集

NEWSLETTER

次回NEWSLETTERに掲載する記事を募集致します。地域のACPの活動についてや掲載してほしい記事などございましたら、事務局にご連絡ください。

HPのLink先

HPに掲載するLink先を募集致しております。ACPの活動を行っている団体や皆様の地域のACPの活動を広く知っていただくためにご活用ください。詳細は事務局にお問合せください。

▶ 2022年度年次大会について

【第7回年次大会長】

大友 宣 氏

(医療法人財団老蘇会 静明館診療所)

※日にち等、詳細は後日公開致します

一般社団法人 日本アドバンス・ケア・プランニング研究会 事務局

〒474-8511 愛知県大府市森岡町7丁目430番地
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部内

☎0562-48-8456

●E-mail: acp.study.group@gmail.com

●Facebook: [一般社団法人 日本アドバンス・ケア・プランニング研究会 - ホーム](#) | Facebook